

令和 6 年度

学校関係者評価報告書

令和 7 年 6 月

学校法人日本コンピュータ学園

東北保健医療専門学校

令和6年度 学校関係者評価報告書

平成20年度に学校教育法施行規則が改定となり、専門学校による学校自己評価の実施が義務化されたことを受けて、東北保健医療専門学校では、平成24年度より教育活動実施状況を総合的かつ客観的に点検・評価し、問題点を明らかにした上で、次年度の教育活動や学校運営の改善に活かし、開かれた学校づくりを進めることを目的とした「学校自己評価」を実施しています。

さらに、平成25年度からは、卒業生、関係業界、学識経験者から成る「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者による評価も実施しております。

令和6年度の教育活動や学校運営などについて、全教職員で学校自己評価を実施しました。その結果に基づき、学校関係者評価委員会を開催し、多くの貴重なご意見やご指導を頂きました。

今後とも学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでいく所存です。

1. 学校関係者評価委員会（令和7年6月26日実施）

学校関係者評価委員

菊田 正信 氏	学校法人日本コンピュータ学園	卒業生（委員長）
三浦 陽平 氏	独立行政法人国立病院機構宮城病院	作業療法士
渡部 達也 氏	株式会社わざケア	代表取締役
渡邊 好孝 氏	医療法人社団光友会	介護老人保健施設アルパイン川崎 地域包括ケア推進部 部長

事務局

佐藤 房郎	校長
大苗 敦	法人事務局 部長
上遠野純子	東北保健医療専門学校 教務部長
佐藤 美加	東北保健医療専門学校 教務課長
和地 辰紀	東北保健医療専門学校 教務課長
笠原 江利子	東北保健医療専門学校 教務主任
藤井 貴	東北保健医療専門学校 教務主任
淀川 裕美	東北保健医療専門学校 教務主任
鈴木 香織	東北保健医療専門学校 総務課長
岩渕 富美子	法人事務局 課長代理（書記）

2. 評価対象期間

自：令和6年4月1日

至：令和7年3月31日

3. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様に「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見を頂きました。頂いたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価、意見、提案を報告します。

評価は、4～1の点数で記載します。

評価 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

■基準1 教育理念・目的

評価 4

- ・ 教育理念・目的・育成人材像、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、アセスメントポリシーを明確に定め、学修要項(運営方針・教育計画)・入学案内・ホームページで広く周知している。
- ・ 養成施設指定規則及びガイドラインなどに基づき、各科の教育目標や内容、教育の重点目標を明示している。また、教育課程編成委員会でいただいた現場の意見等も聞き取ることで、業界ニーズも把握したうえでカリキュラム内容を検討している。
- ・ 昨年度の委員会で行った内容の対策や改善がなされているので、よろしいかと思います。

■基準2 学校運営

評価 4

- ・ 学園の事業計画ならびに当校の令和6年度重点施策、事業計画に基づき、教育課程の編成・実施方針等を策定している。令和6年度重点項目としては①入学者の学力に対する組織的支援の強化、②アクティブラーニングの推進、③地域に根ざした臨床実習施設の新規開拓と連携強化、④系統だった国試対策であった。
- ・ 組織横断的なワーキングチームやBCP委員会を立ち上げる等、速やかな意志決定ができるシステムを整備し、問題点や課題の解決に向けて改善に努めている。
- ・ 人事、給与の制度は法律改正に合わせた見直しを適宜実施し、整備、運用している。
- ・ Desknet's(グループウェア)やファイルサーバーなどの利用により業務の効率化は図られている。また、令和6年度末より新たな教務システムを導入に向けた準備を進めている。新システムでは、出席管理をはじめとする教務事務を効率化し、適切に事務処理が行えると期待できる。

- ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を策定している。
- ・ 学生の基礎学力向上と学習時間確保のための入学前学習を全科にて実施し、入学前から学生個々の特徴を把握しながら学習支援に取り組んでいる。
- ・ 自分の専門以外の仕事への理解を深めるため、他の学科の先生や、現場の第一線で活躍している専門家から直接話を聞く講義を設けています。これは、将来の働き方を考えるキャリア教育の授業として、各学科で行っているものです。
- ・ 教育課程編成委員会を年2回実施し、関連分野の各委員よりいただいた意見を踏まえて、カリキュラムや授業内容の見直しや変更を行っている。
- ・ 理学療法科及び作業療法科は、リハビリテーション教育評価機構の審査(第3者評価)を受け、「適合」の判定をいただいたことで、より実践的な教育活動に向けた改善に繋がっている。
- ・ 教員の研修については、専門分野の外部研修会や教育研修会に参加している。またメディカルオンライン(医学文献検索サービス)は広く最新情報が掲載されているため、学生ならびに教員の文献検索の幅が飛躍的に拡大している。
- ・ 育成人材像や業界のニーズを考慮するうえで、地域のニーズという視点も取り入れていただくことが必要と考える。地域には様々な業界・業種が関わっていることを踏まえて、医療従事者とは異なる新しい思考やアイデアを、学生にも共有するきっかけにさせていただくとともに、地域課題に専門職としての知見や情報発信が出来るような人材育成を目指して頂きたい。

- ・ 就職については、担任と就職センターが連携し、きめ細かく学生を支援することで良い結果が出ている。(令和6年度就職希望者の就職内定率99%)
- ・ 学校全体として資格取得率の向上が図られている。引き続き国家資格・各種資格試験の合格率向上のため学科単位、学校全体として、さらなる対策強化に期待したい。
- ・ 退学率を低減させるための取組みとして、今後も学校として課題や要因を把握することに努め、退学率低減に向けた取組みを強化していただきたい。

- ・ 学生の進路・就職については、就職センターが情報を一元管理し、教職員と連携するシステムを整備している。
- ・ 学生相談に関する体制は整備されており、カウンセリング室の人員強化、各教員への

情報共有は確立されている。

- ・ 生活面及び健康管理に対する支援体制は整備されている。
- ・ 学生と教員のコミュニケーションは重要なことなので、引き続ききめ細やかな学生対応を行っていただきたい。
- ・ 学校と保護者との連携については、学修面の支援に加え、健康支援、学費免除や分納、高等教育の修学支援新制度の事務手続きなど、保護者と対面や電話、オンラインでの面談等適切に行っている。
- ・ キャリア教育・職業教育の取り組みとして、高校訪問や高校やその他の教育機関と協力するなど積極的に情報発信し、今後も職業理解を深める企画の実施や高校と連携した取り組みを推進していただきたい。

■基準 6 教育環境

評価 4

-
- ・ 施設・設備は学科や学生数、利用状況に応じて十分確保されているかを適切に把握することで、今後も整備・更新を計画的に検討していただきたい。
 - ・ 学外の実習地確保については、学校として組織的な取り組みが必要であり、次年度も最優先事項として取り組んでいただきたい。
 - ・ 学校側だけでは解決できない場合は、関係団体と連携するなど対策を講じていただきたい。
 - ・ 防災及び防犯マニュアル、不審者対応マニュアル等により体制が整備されている。また、防災・地震に対する学園合同の訓練を年2回実施している。

■基準 7 学生の受け入れ募集

評価 4

-
- ・ 学生の募集広報活動における内容や説明表現については、実績を基に適切な判断材料を提供出来るように配慮し、真実性、透明性をもった情報提供及び募集活動を行っている。
 - ・ 学生募集広報活動は適正に行われており、教育成果も正確に伝えられている。
 - ・ 学納金は、教育内容や教育環境、他校の学費水準に照らし協議のうえ決定されている。

■基準 8 財務

評価 4

-
- ・ 財務諸表の通り、学園の財務基盤は安定している。今後も、学生数の確保を図り、継続

して中長期的な財務基盤の安定に努めていただきたい。

- ・ 会計監査は、関連法規により公認会計士及び監事により適正に行われている。
- ・ 財務状況はホームページ上に「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」、「財産目録」、「監査報告書」を公開しており、情報公開の体制整備ができている。

■基準 9 法令等の遵守

評価 4

- ・ 関連法令・施設設置基準ならびに個人情報の取り扱いについては、適正に周知・遵守している。
- ・ 個人情報の保護については規則や基準に基づき、学生及び教職員へ周知するとともに、適切に管理・運用している。
- ・ 学校自己評価を実施し、問題点を明らかにし、対策および改善策を実施するなど適正に行っている。
- ・ 自己評価結果は適切に公開している。

■基準 10 社会貢献・地域貢献

評価 4

- ・ 教員は臨床実習指導者研修会や学会における講師、運営実行委員として関連職能団体の活動に積極的に参画している。
- ・ 歯科衛生科は宮城県歯科医師会、宮城県歯科衛生士会とともに宮城県歯科衛生士離職者支援事業協議会に参画し、研修企画などに携わっている。
- ・ 学生には従来のボランティアのほか、単発で行うのではなく、継続して参加できるボランティアにも目を向けるような仕組み作りなどを検討頂きたい。今後の取り組みに期待したい。

■基準 11 国際交流

評価 4

- ・ 姉妹校の仙台国際日本語学校や留学生の担当部門である留学生支援室と連携を取り、留学生の受け入れについて、学園内で適切に業務管理を行っている。在籍管理や学習面、生活指導等については、担任及び総務課が連携して適切に対応している。また、入国手続、就職活動、生活支援などの学内の体制も整備されている。
- ・ 仙台国際日本語学校と共同で留学生の医療介護福祉業界への人材確保を図る目的で、ミャンマーの留学生に対して日本語教育を行うとともに、アルバイトの斡旋や卒業後

の就職先との連携強化を図り、令和7年度に5名が入学した。

- ・ また、在校生については仙台国際センター内にある SENTIA の施設見学をし、介護人材として国際理解と外国人交流を学んでいる。また、地域へのフィールドワークを積極的に行い、多文化共生のあり方などを学生ならびに教員がレポートをまとめた。これにより、人には様々な考え方や背景があることを知り、相手の価値観を尊重する大切さを学べる、良い機会となった。他学科でも行っていただきたい。

以上

学校法人日本コンピュータ学園 東北保健医療専門学校

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 3 番 1 号
